

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和2年1月30日

三田市議会議長 福田秀章 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	印
		議員名	美藤 和広
派遣者氏名			
視察先及び 調査事項 (調査目的)	徳島県 名西郡神山町神領字中津 132 番地 神山町農村環境改善センター内 NPO 法人グリーンバレー 徳島県徳島市幸町 2-5 : 徳島市役所 徳島県阿南市富岡町トノ町 1 2-3 : 阿南市役所		
日 時	令和2年1月21日(火曜日)～令和2年1月23日(木曜日)		
視察先対応者	神山町 認定特定非営利活動法人グリーンバレー 移住交流支援センター: 伊藤 友宏氏 (株)プラットイーズ 取締役会長: 隅田 徹氏  徳島市 議会事務局: 扶川 康文局長 保健福祉部 保健センター 田村 茂生所長 森 史子所長補佐 福祉事務所 竹原 義典課長  阿南市 阿南市議会 藤本 圭議員 議会事務局議事課 三河 恭普課長補佐 産業部 野球のまち推進課 橘 敬治課長 篠原 正重課長補佐		

調査日時	令和2年1月21日(火) 午前14時00分～15時30分
視察先	徳島県名西郡神山町神嶺字中津132 神山町農村環境改善センター内 NPO 法人グリーンバレー
調査事項	◎サテライトレクチャー (徳島県神山町：高速ネットでコミュニティビジネス支援)
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的過疎化で芸術家やベンチャー企業に移り住む、神山町の魅力に対する、NPO法人グリーンバレーによるサテライトレクチャー。 講師は、東京と神山にサテライトオフィスを持つ会社の取締役：隅田徹氏（丹波篠山市の古民家再生事業の株式会社ノオトも手がけている）</li> <li>・サテライトオフィスで働き方・生活の多様化ができる。映像系で、納品はデジタルのため、どこでも仕事ができ、納品はネット経由で送る。 組織図に場所なく、従来の階層構造でも、各人、どこに居てもよく、サテライトで対応できる。家族で住み、赴任や地域・家族手当はない。 Amazon、アスクル、光ファイバーがあればどこでもよく、クラウドパッケージで、経理部門も総務も印鑑もサーバー管理も不要。 営業もアウトソーシングで必要なときに対応してもらう。従来の地域の縛り（商工会や各種団体の制限）が少ないので神山を選んだ。</li> </ul> <p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までのものづくりの概念ではなく、デジタルの世界では納品がデジタルデータとなり、物理的な製品ではなくなる。そのため、組織も従来の場所に縛られず、すべて「人」に付随する。検認もデジタルで行い、経理や総務はクラウドパッケージで行なうため、システム管理やサーバー管理も不要。そういう業界ならば、サテライトオフィスは、ネットワーク環境が整っていればどこでも良いことになる。むしろ、自然環境のある農村地域で家族で暮らしながら、作業するほうが生産性があるであろう。今回のレクチャーは、その実態として大いに参考になった。三田もネットワーク環境は一定整っている。公共施設の再編による空き物件をオフィス環境として提供すれば、十分にサテライトオフィスを誘致、あるいは新規ビジネス企業を誘致できると思う。</li> <li>・今回の話の中で、従来の関連組織からの縛りが煩わしい、との話があった。商工会やJCや観光協会等のように、地域活動を義務付けたり連携を求められるのは、地域外から入る人たちにとってマイナス要因とのこと。神山はその点で自由度が高く、外来者に開かれている点が評価されている。三田市はどこまで外来者を受け入れられるか、ニュータウンでニューカマーを受け入れた実績をいかせるかが、これからの三田の課題だと考える。</li> </ul> <p>(添付資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・檜田議員資料参照</li> </ul>	

調査日時	令和2年1月22日(水) 午前10時00分～11時30分
視察先	徳島県徳島市幸町2-5 徳島市役所
調査事項	◎「とくしま・えがお21」で健康づくり計画
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の生活習慣病対策推進を図り、健康長寿社会の実現に、①健康寿命の延伸②良好な社会環境③生涯健康社会の実現を目的とする。</li> <li>・平成22年平均寿命も健康寿命も全国平均を下回り、健康寿命延伸を図る「とくしま・えがお21(第2次)」で健康づくりを進めている。</li> <li>・生活習慣病の予防では、発症予防・重症化予防、生活習慣の改善では、適切な食生活・運動習慣・歯や口腔の健康・禁煙を推進。</li> <li>・マイレージ事業は一定の成果が出たが、2年目以降はリピーターがほとんどで裾野が広がらないので、継続性のある事業を検討中。</li> <li>・徳島大学病院・県立中央病院など医療機関は充実。阿波踊りを基にした健康体操や認知症体操・百歳体操など運動習慣を促進している。</li> </ul> <p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命は徳島市においても大きな課題であり、特に高齢化地区では地域活動の重要施策となっている。阿波踊りは足腰の強化にもなり、生きがいにもなると考えるので、もう少し上手な活かし方があると思う。</li> <li>・高齢者のための便利帳「あんしん」はとても良くできている。特に、途中にコラムがあり、「ロコモ」や「フレイル」、「高齢者ドライバー」や「消費者被害」など生活面から支援する冊子で、高齢者全員に配っている。ただ、少しアピールが足りなかったようである。三田も参考に、意識して読んでもらえる冊子ができると良いと思う。</li> <li>・「認知症支援ガイドブック」も良くできている。内容的には三田も負けていないと思うが、徳島市は認知症疾患医療センターがあり、徳島大学病院などと連携できている。</li> <li>・マイレージ事業の成果が、2年目以降はリピーターがほとんどで新たな参加が得られないので、県事業との連携や継続性のある事業を検討しているとのことで、三田もいきいきマイレージも新たな工夫が必要であり、常に意識をさせるモチベーション維持の仕組み創りを検討しなければならないと思う。</li> </ul> <p>(添付資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政視察 質問事項</li> <li>・行政視察資料 徳島市保健福祉部保健センター</li> <li>・徳島市健康づくり計画 「とくしま・えがお21(第2次)」</li> <li>・資料1: 徳島市の高齢化の状況について</li> <li>・資料2: 令和2年度徳島市地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み</li> <li>・資料3: 徳島市の認知症関連施策</li> <li>・資料4: 高齢者のための便利帳「あんしん」…表紙・目次のみ</li> </ul>	